

環境保全で飯野小学校がW受賞!!

飯野小学校の環境保全に対する取り組みが認められ、「くまもと環境教育賞」を10月5日に熊本県知事から表彰され、また、10月30日には、熊本県、熊日新聞、肥後銀行などが主催する「肥後の水とみどりの愛護賞」を受賞しましたので、その取り組みを紹介します。

飯野の自然に親しもう(ホタルを中心とした環境教育)

1 活動の目的

飯野小学校では、身近な環境に関心を持ち、地域の自然の大切さに気づき、環境保全について考え行動できる力をはぐくむことを目的に環境教育を進めています。

2 活動の実際

①ホタル池の生き物観察

校庭のふれあい広場に、「ホタル池」があります。この池は、ホタルの飼育用に造られたものですが、水辺にはトンボやカエルなどの生き物もやって来ます。また、きれいな水には浮き草などの植物も繁殖し、快適なビオトープになっています。児童は、池の周りの土を軟らかくするなど、



ホタル池の観察

ホタルが育つ環境を整えたり、池にやって来る生き物を観察したりしています。

②岩戸川

ホタル復活プロジェクト

ホタルの幼虫を育てて岩戸川に放流する活動を続けています。ホタルの幼虫はカワニ

ナを食べますので、岩戸川のカワニナの数の測定や水環境



ホタルの幼虫を放流

調査も行っています。また、「砥川地域資源保全チーム」を中心に、岩戸川のカワニナを増やす活動が進められ、地域の方々と一緒になって推進するホタル復活プロジェクトが活発になっています。

③ホタル鑑賞会

毎年5月末に、ホタル鑑賞会を開催しており、児童や地域住民200人ほどの参加があります。今年は、5月29日(火)に、岩戸川近くにステーションを設置して実施しました。

同校の児童による琴クラブの演奏でオープニングし、環境省環境カウンセラーの小林修氏の講話や児童による環境学習の発表を行い、最後に「ホタルの歌」を大合唱。帰りには、川面に飛び交うホタルの乱舞を鑑賞できました。



ホタル鑑賞会の講話

④稲作体験と

水田の生き物調査

地域の水田をお借りした学習田では、15年間続く稲作体験を実施しています。餅米の



水田の生き物観察

種まき、田植え、ジャンボタニシの駆除、雑草抜き、かし作り、稲刈り、餅米販売、餅つき、稲わらを使ったしめ縄作り、レンゲの種まきなどを一連の活動として行っています。また、生きた化石と言われるカイエビやカブトエビの再生を期待しながら、無農薬栽培にして、水田の生き物観察も続けています。

3 これからの活動

●ホタルやメダカの観察活動を進めて、校区全体の自然環境マップ作りを行っています。また、学校のホームページに、その活動の様子や環境マップなどを紹介します。

●地域の方々と連携し、ホタルやメダカが増えるような豊かな自然環境について考えていきます。